

平成31年度使用小学校・中学校教科用図書採択方針

寒川町教育委員会

教科用図書は、学校教育において主たる教材として使用されるものであるから、採択の対象となるすべての教科用図書について十分な調査研究を行い、児童・生徒にもっとも適した教科用図書を採択すべきである。

そして、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定により、採択地区の教育委員会は、種目ごとに一種の教科用図書を採択しなければならないと定められている。

なお、同法律施行令第15条1項の規定により、同一の教科用図書を採択する期間は4年と定められている。また、平成30年度に新たに採択されることとなる中学校「特別の教科 道徳」の教科書に関しては、無償措置法施行令第15条第2項及び第3項の規定に基づいて、平成30年度及び平成31年度の2年間同一の教科書を採択しなければならないとされている。

以上のことを踏まえて、寒川町教育委員会は平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」の教科書の採択方針を次のとおり定める。

(1) 国、県の方針等を踏まえて採択する。

文部科学省通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」及び神奈川県教育委員会からの教科用図書の採択方針を踏まえ、寒川町教科用図書採択検討委員会の示す資料、神奈川県教育委員会作成の教科用図書調査研究の結果等に基づいて採択する。

(2) 公正、適正を期し採択する。

静ひつな採択環境を確保し、外部からの働きかけに左右されることなく、採択権者の権限と責任において公正かつ適正な採択を行う。

(3) 寒川町の学校、生徒、地域等の特性を考慮して採択する。

寒川町の学校、生徒、地域等の実態を踏まえ、各教科用図書の特性を十分に検討した資料を用いて採択を行う。

また、中学校の「特別の教科 道徳」以外の教科用図書および小学校教科用図書の採択方針は、次のとおり定める。

(1) 中学校の「特別の教科 道徳」以外の教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条1項の規定により平成30年度使用教科書と同一のものを採択する。また、小学校教科用図書については、小学校用教科書目録（平成31年度使用）に登載されている教科書のうちから平成30年度使用教科書と同一のものを採択する。